

「伝えたいコト」を構造化(こうぞうか)する

①「伝えたいコト(メッセージ)」で一番大事なコト=幹(頭、背骨)を決める。

それを選ぶ理由や根拠などを整理する。

メッセージとするために、追加で調査したり、話し合うべきことを決める。

②「伝えたいコト」を補足するサブ情報=枝葉(小骨、肉)と切り分ける。

一番大事なコトを補足する情報。

✓ メッセージを「対策」にするなら、「現況」や「原因」など。

✓ 一番大事なコトに選ばなかったワンページャーから関連性あるコト。

どのように見せるか／伝えるか？キャラクター、場所・時代設定など。



「伝えたいコト」の決定で注意すること

- メッセージアニメの「伝えたコト」は、課題の改善や対策に限らない。
- 課題となる事象があるなら、その原因分析、現況、社会的影響、生態系や自然への影響なども当てはまる。
- 水の「文化」、「歴史」的な考察も「伝えたいコト」になる。
- メンバー1人だけのトピックスや体験でも良い。「詳しいひと」の体験や研究に絞ると、注目を集める。

さらに、フワフワ浮草アニメにならないように、

- メンバーが「自分事(じぶんごと、自分自身のコト)」として捉え、伝えられるか？
- ワンページャーで出たトピックスや情報も念頭に置く。
- あなたのグループだから描ける、独自色を出す。

